LINN CLASSIK

Setting up the Linn CLASSIK

Assemblage du Linn CLASSIK

Einrichtung des Linn CLASSIK

Installazione di Linn CLASSIK

Instalación del Linn CLASSIK

Gebruiksklaar maken van de Linn CLASSIK

取扱説明書

目次

LINN CLASSIK　主要な特徴

CLASSIK は最良のパフォーマンスを実現するために、それぞれ単体の製品に匹敵する優れた性能を備えた CD/チューナー/コネクト/プリ/パワーアンプの各コンポーネントを使い勝手のよいコンパクトな一体型のボディに納められました。

別売の SP ケーブルでスピーカーと接続するだけで、簡単に音楽性豊かな Hi−Fi システムが完成します。再生のクオリティは LINN システムならではの美しい旋律と繊細でありながらも時にはパワフルな再生音を楽しませてくれます。

CLASSIK はそのシンプルな機能に 4 個のマイクロ・プロセッサーを搭載、多彩な機能とユーザー設定を可能にしています。

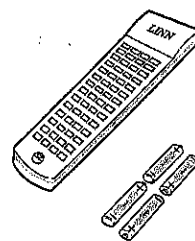
私たち LINN PRODUCTS 社のスタッフは、この一体型でコンパクトな CLASSIK の優れた音楽性と機能性によって、今まで思いもつかなかった豊かな音楽生活をあなたにお楽しみいただきたいのです。

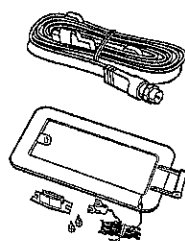
CLASSIK はお好みにマッチしたシリーズ各色の中から自由にお選びいただけます。

□	CD エンジン：	LINN の最新のピックアップとデコーディング技術を活用。高い水準のパフォーマンスを実現。
□	AM/FM チューナー：	シンセサイザー方式のローノイズ・チューナーは正確で確実な受信。８０局プリセット機能。
□	プリアンプ：	３系統のラインレベル入力と１系統の録音出力を備え、TV やテープデッキ等との接続も可。将来の発展性の為、ボリューム連動のプリアンプ出力も装備。別売のパワーアンプやサブウーハーの追加により、パフォーマンスを一段とグレードアップ。
□	パワーアンプ：	７５w＋７５W（4Ω負荷時）の高出力を誇ります。
□	出力端子：	２系統の出力。バイワイヤリング接続や２組のスピーカーの接続に利用。
□	時計/アラーム/タイマー：	目覚まし音楽アラーム。自動オフタイマー。
□	トーン・コントロール：	音質を損ねない微調整トーン・コントロール機能。小型のスピーカーや部屋の状況に合わせて、音質を補正。
□	テープモニター：	高級３ヘッドテープレコーダーのメリットを活用するテープモニター機能。
□	ユニティー・ゲイン：	外部の AV サラウンド・プロセッサーとの接続に便利な、ユニティー・ゲイン機能（ボリュームレベル８０で固定）を採用。
□	ユーザー機能設定：	ユーザーの好みに合わせて１６種のユーザー機能を設定。
□	光ディジタル出力：	MD、CD-R 等の録音用。
□	マルチルーム：	簡単な配線でメインルーム CLASSIK（親機）とサブルーム CLASSIK（子機）のマルチルーム･システム。

LINN CLASSIK

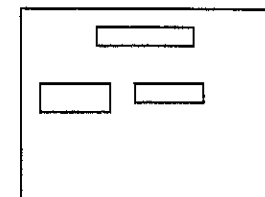
セットアップ

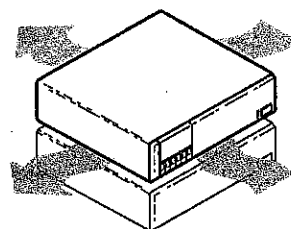
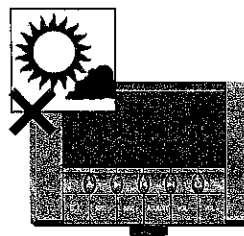
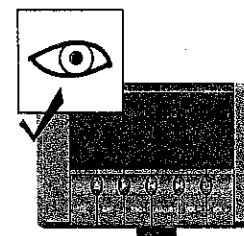
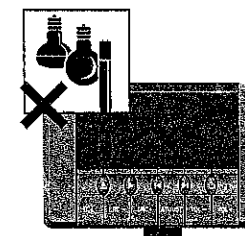
付属品一式
（ご確認ください。）

リモコン
単４電池　　４本

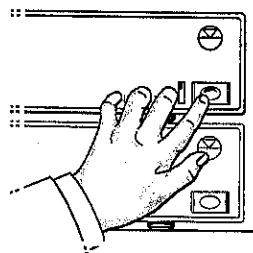
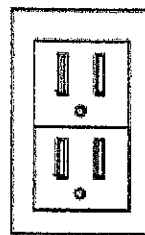
付属の電池はテスト用です。お早めに新しい電池とお取替え下さい。

FM 簡易アンテナ
AM 簡易アンテナ

スピーカー端子：
赤色プラグ　　２個
黒色プラグ　　２個

プラグ処理の方法は別紙をご参照下さい。

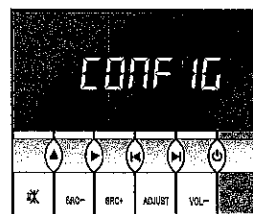
電源ケーブル
３ピン接地アダプター

５年保証登録申込書：
必要事項をお書込みの上、弊社までご返送ください。
詳しくは登録申込書をご参照ください.

置き場所についてのお願い

内臓のパワーアンプや発熱しやすい他の機器の放熱を考慮し、出来る限り空気の循環のよい場所をお選びください。

赤外線リモコンの誤動作を防ぐ為、赤外線受光部には直射日光があたらないようにしてください。

ディスプレーを障害物で塞がないようにしてください。

インバーター式の蛍光灯やハロゲン照明の光がディスプレーに直接あたらないようにしてください。

ご注意

配線や機器の変更は必ず、電源を切った状態で行って下さい。

出来るだけ、アースつき 3 ピンコンセントをご使用ください。

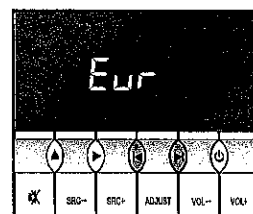
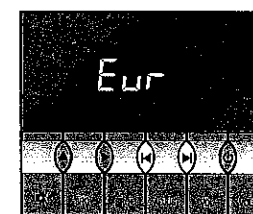
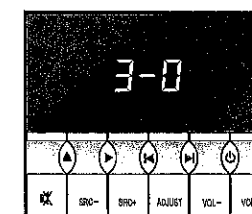
(詳しくは販売店または弊社サービスまでお尋ねください。)

付属の3ピン電源ケーブルをご使用ください。

本体後面の表示をご参照ください。日本仕様のフューズは 6. 3A です。
異なる値のフューズは絶対に使用しないで下さい。
万が一、故障が発生した場合は直ちに、最寄の LINN 取扱店もしくは弊社サービスまでご連絡ください。

出荷時の初期設定に戻すには

(本機は工場出荷時、日本仕様 JAP に設定済みです。通常この操作の必要はありません。)

本体フロント操作部の [VOL+] を押したまま電源スイッチを入れ約 10 秒間待ちます。(ディスプレーに上記が表示されるまで [VOL+] を押します。

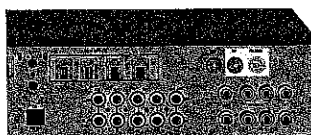
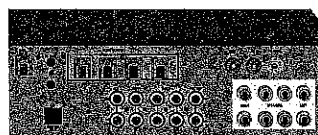
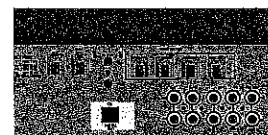
[CONFIG ⇒ 8888 ⇒ Country? ⇒ Eur]と表示します。

本体フロント操作部の SKIP キー [|◀] [▶|] (灰色に表示)のいずれかを押すと Eur, JAP, USA と表示が変わります。
そこで JAP を選択します。

本体フロント操作部の SKIP キー [|◀] [▶|] 以外のキー(灰色に表示)のいずれかを押して設定を確定します。

工場出荷時の初期設定の内容は 29 ページの表の灰色で表記された項目をご参照ください。

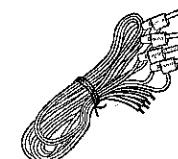
CLASSIKの配線について

外部の音源を入力として使用する場合はAUX(追加入力用端子)に接続してください。
(例：ＴＶ、衛星放送、ファミコンなど。)

TAPE 1:
テープレコーダ、MD、DAT、CD-R 等の再生専用。

TAPE 2:
テープレコーダ、MD、DAT、CD-R 等の録音、再生用。

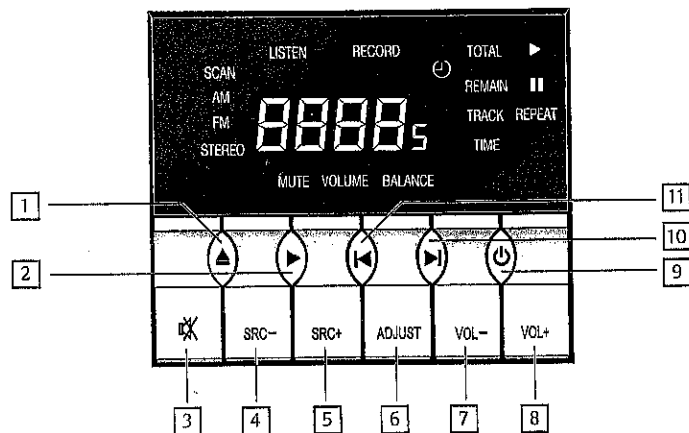
PRE OUT:
メインボリューム連動のプリ出力端子。
(外部パワーアンプ、サブウーハー等に使用。)

FM、AM アンテナ 入力端子

スピーカ出力端子：
バイワイヤー配線または、
２組のスピーカー（≧８Ω）に使用。

オプティカル出力端子：
デジタル録音用の光出力。

(MD、DAT、CD-R 等用)

スピーカーケーブルとプラグ：
専用ＳＰプラグを使用します。
別売のＳＰケーブルやプラグは下記をご参照下さい。

ＳＰケーブル (端子付/完成品)
CONN 375 (2.5M / Pair)
CONN 375/5M (5M / Pair)
CONN 375/10M (10M / Pair)

ＳＰプラグ
LSP 1 (赤×２、黒×２)

ＳＰケーブル
K-10 (@1m)

ディスプレーとコントロール

1	ストップ/オープン	STOP/OPEN
2	プレイ	PLAY
3	ミュート	MUTE
4 5	入力選択	SOURCE SELECT
6	アンプ調整	AMP SETTINGS ADJUST
7	音量を上げる	INCREASE VOLUME
8	音量を下げる	DECREASE VOLUME
9	スタンバイ	STANDBY
10	前方にスキップ	SKIP FORWARD
11	後方にスキップ	SKIP BACKWARD

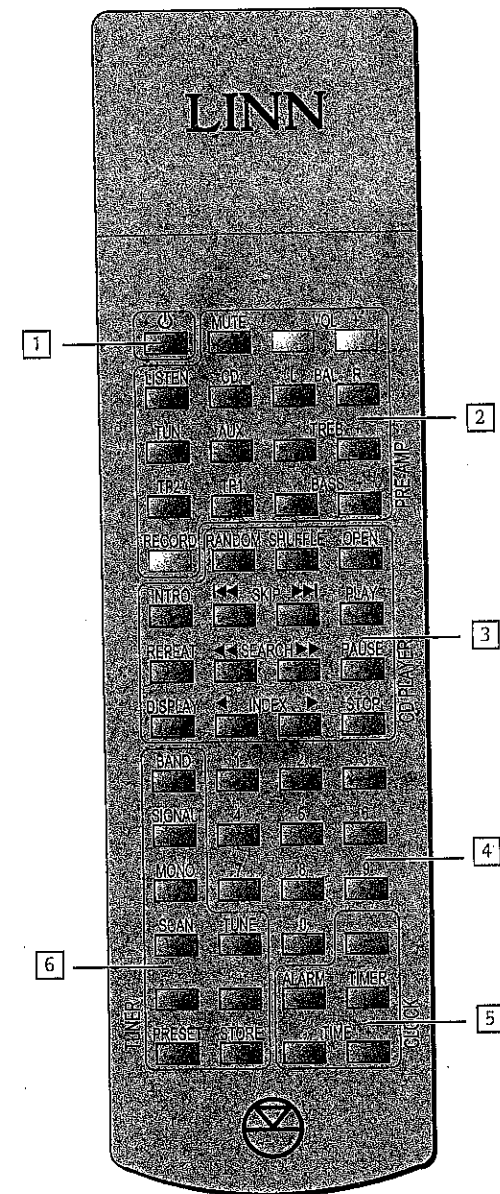
リモコンの数字ボタン [1] ~ [0] は CD やチューナーの操作に使用します。

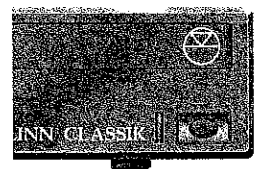
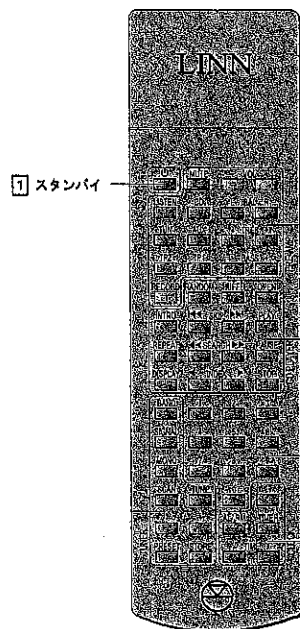
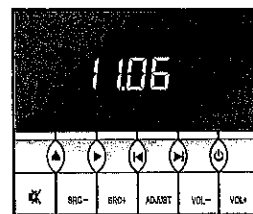
2 桁の番号を選ぶ場合は初めに 10 の位の数字ボタンを長めに押し、数字が 10 の位に移り次第、直ぐに(間を空けずに) 1 の位の数字ボタンを押します。

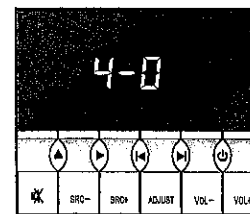
(例:CD で 16 曲目を選択する場合、初めに CD 機能の [PLAY] 又は [OPEN] を押した上で [1] を押しながら、その数字が [1-]と 10 の位に移り次第、直ぐに [6] を押して 16 とします。

ご注意

本体が数字ボタンに反応しない時は、操作する CD やチューナー専用の操作ボタン(例:[PLAY]、[TUNE] 等)を一度押してから再度、数字ボタンを押してください。

リモコン 操作

1	スタンバイ	STANDBY
2	プリアンプ操作	PREAMPLIFIER
3	CD プレーヤー操作	CD PLAYER
4	数字ボタン	NUMBER
5	時計/タイマー/アラーム	CLOCK, TIMER, ALARM
6	チューナー操作	TUNER

電源のオン･オフ

フロントパネル右側の主電源ボタン を押します。

スタンバイ(待機モード)となり、ディスプレーは現在時刻を表示します。(初期設定)
STANDBY を押して動作に入ります。
演奏を止めて、スタンバイ(待機モード)に戻すにはもう一度 STANDBY を押します。

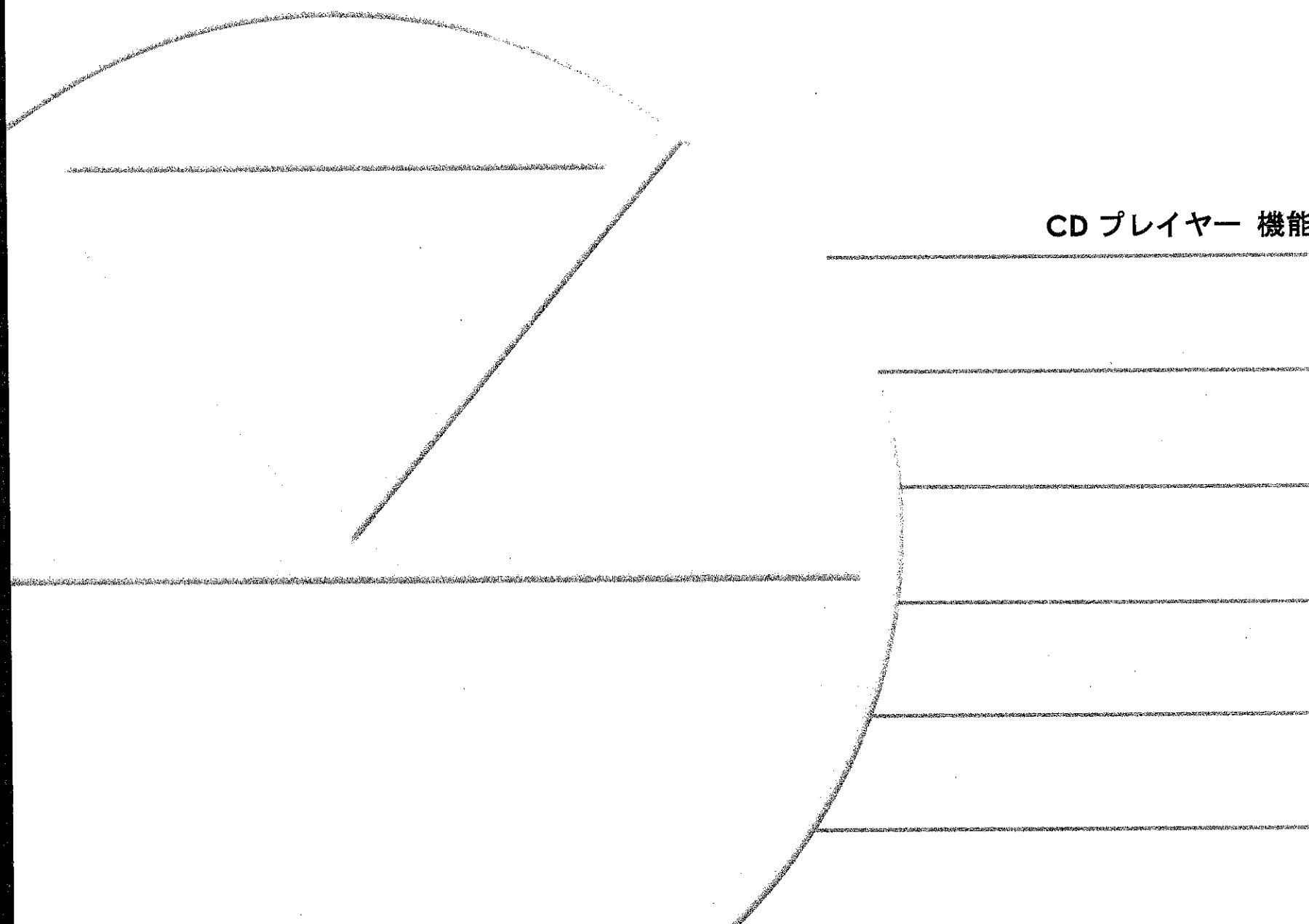
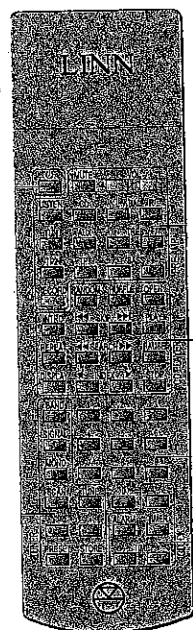
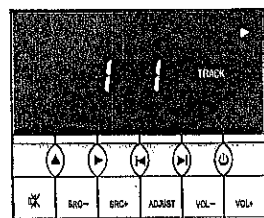
注： 外出時には必ず主電源をお切り下さい。

表示設定の変更は、29 ページのユーザー機能の設定をご参照ください。)

各機能の説明方法について

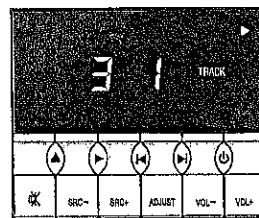
本説明書では、リモコンによる操作方法を中心に進められています。
基本的な操作は本体フロントパネルの操作ボタンでも可能です。
操作パネルの灰色表示されたボタンをご参照下さい。

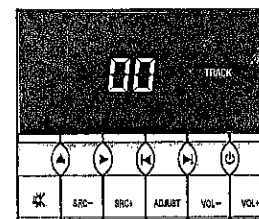
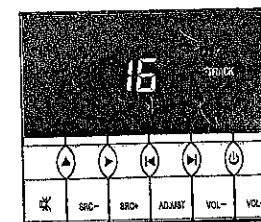
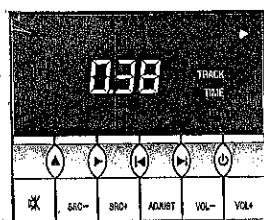
(一部の特殊な操作は本体側の操作パネルでのみ可能なものがあります。)

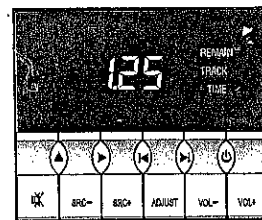
LINN CLASSIK

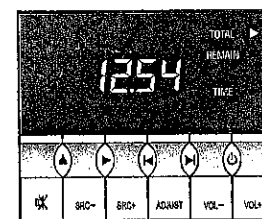
CD プレイヤー 機能

表示を変更する

[3] CD プレーヤー

リモコンの DISPLAY で必要な表示を選びます。

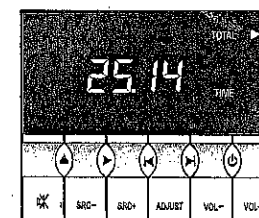
例１：
演奏中のトラックとインデックスを表示します。

トラック　　　No. 1
インデックス　No. 1

例２：

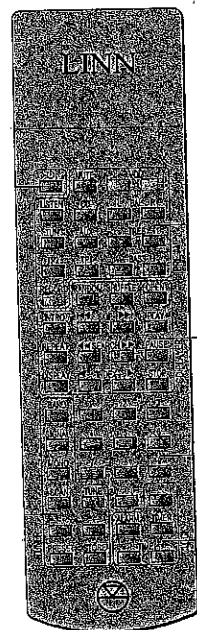
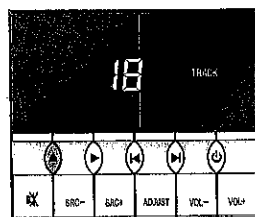
トラック　　　No. 3
インデックス　No. 1

例３：
ディスクが装填されていません。

例４：
ＣＤ演奏が停止しています。
このＣＤは合計で１６トラックです。

DISPLAY ボタンを押します。

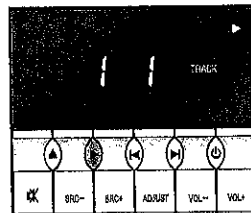
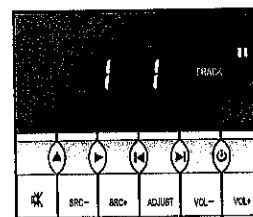
TRACK TIME:
演奏中のトラックの開始からの経過時間。

DISPLAY ボタンを押します。

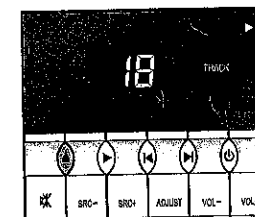
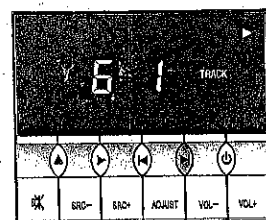
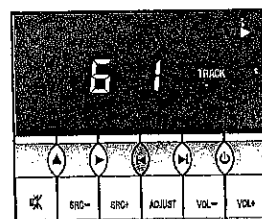
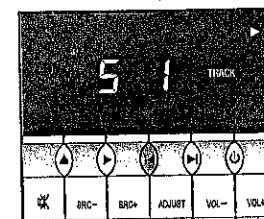
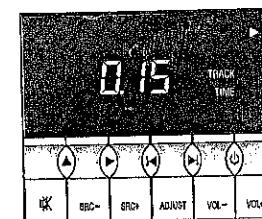
REMAIN TRACK TIME:
演奏中のトラックの残り演奏時間。

DISPLAY ボタンを押します。

TOTAL TIME:
ディスク演奏開始からの合計の経過時間。

DISPLAY ボタンを押します。

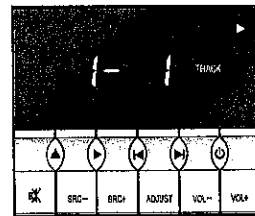
TOTAL REMAIN TIME:
ディスクの残り総演奏時間。

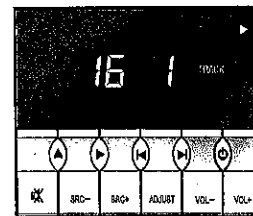
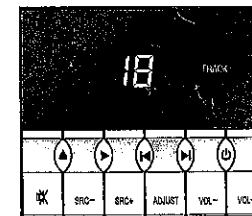
演奏開始 (PLAY)
一時停止 (PAUSE)
停止 (STOP)

OPEN でトレーを開きます。
CD ディスクをトレーに乗せ、
もう一度 OPEN ボタンを押
す
か、直接トレーを押して装填し
ます。

（本体フロントパネルによる
操作ボタンは灰色で表示）

PLAY でディスクの初めから
演奏を開始します。

PAUSE で一時停止します。
もう一度 PAUSE 又は PLAY
で演奏を再開します。

STOP で演奏を停止します。

トラック送り (SKIP)
早送り／早戻し (SEARCH)

SKIP 前方:
SKIP ▶▶| で次のトラックに
進みます。

SKIP 後方:
SKIP |◀◀ で演奏中のトラッ
クの初めに戻ります。

もう一度、SKIP |◀◀ で、前の
トラックの初めに戻ります。

SEARCH:
SEARCH ▶▶ で前方サーチ
します。
SEARCH ◀◀ で後方サーチ
します。
演奏時間の詳細を見ながらサー
チするには DISPLAY を押しま
す。

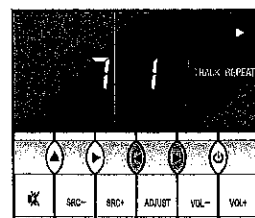
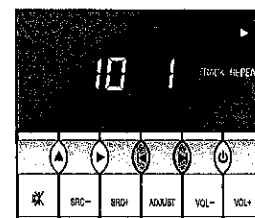
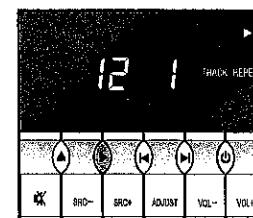
ダイレクト選曲

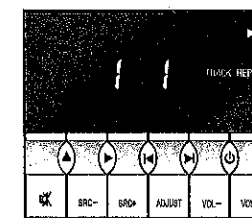
トラック No. 1～9 の選曲：
リモコンの数字ボタン
[1] ～ [0] で選曲します。
演奏中、停止中、トレーが開いた状態で操作します。

トラック No. 10～ の選曲：
2 桁の番号を選ぶ場合は初めに 10 の位の数字ボタンを長めに押し、数字を 10 の位に移します。

（例：トラック No. 16 を選択）

続けて、間を空けずに 1 の位の数字ボタンを押します。
（例：16 曲目：[1] を長めに押し、その数字が［ 1 －　］と 10 の位に移り次第、直ぐに（間を空けずに）[6] を押して 16 とします）
選択したトラックの演奏を開始します。

記：
特に曲を指定しないまま、CD 関連ボタンを押すとそのまま演奏を再開します。

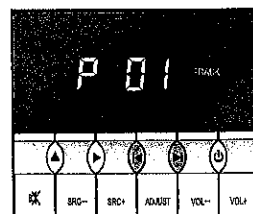
注：
本体が数字ボタンに反応しない時は、CD 専用の操作ボタン（例：[PLAY]、[DISPLAY] 等）を一度押してから再度、数字ボタンを押してください）

リピート

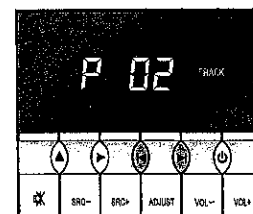
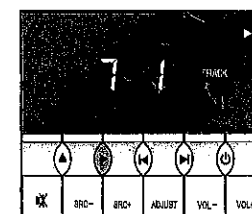
（特定区間の反復演奏）
（ディスク全曲を反復演奏）

SKIP [|◀◀] [▶▶|] や
SEARCH [|◀◀] [▶▶|] で反復演奏の開始点を選び [REPEAT] を一度押します。

SKIP [|◀◀] [▶▶|] や
SEARCH [|◀◀] [▶▶|] で反復演奏の折返し点を選び、もう一度 [REPEAT] を押します。

[PLAY] で反復演奏を開始します。

もう一度 [REPEAT] を押すと、反復演奏は解除されます。

[REPEAT] を一度だけ押した場合は、ディスク全曲を反復演奏します。

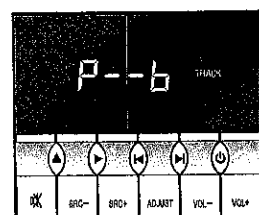
プログラムモード A
(指定トラックを選んで演奏)

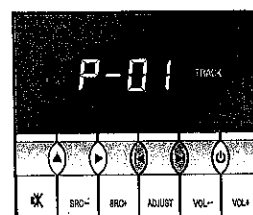
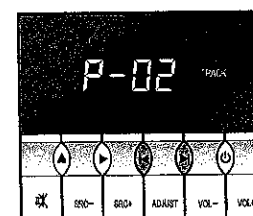
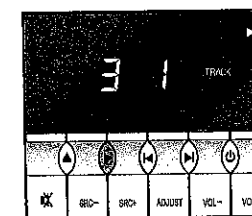
ディスクを入れます。
(未演奏状態)。
DISPLAY を長めに押し続け
[P - A]をディスプレーに表示させます。

表示は続いて[P - 00]と変ります。

希望のトラック番号を
SKIP |◀◀ ▶▶| または
1 ~ 0 で選択し、
DISPLAY で確定します。

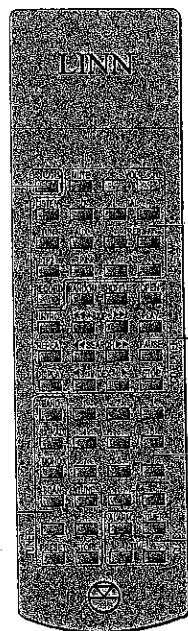
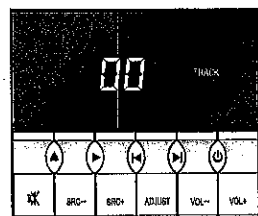
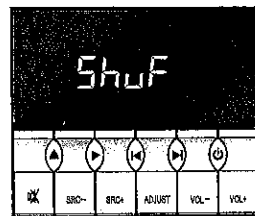
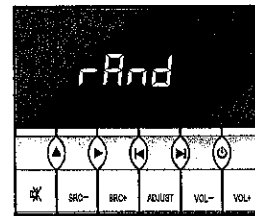
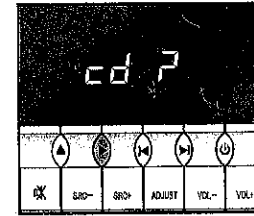
ディスプレーには [P - 01]
と表示されます。

左記の手順を繰り返すことによって他のトラック番号も続けて入力設定します。

設定が終了したらで PLAY で
演奏を開始します。

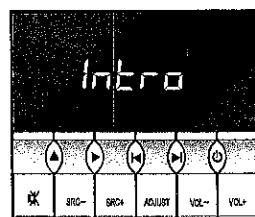
このプログラムはトレーの開閉によって解除されます。

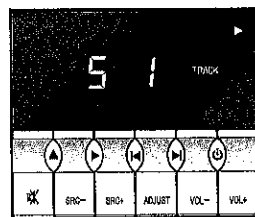
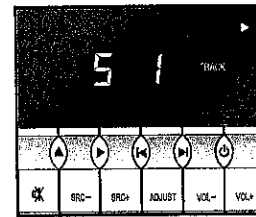
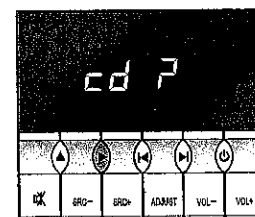
プログラムモード B
(指定トラックを除いて演奏)

ディスクを入れます。
(未演奏状態)。
DISPLAY を長めに押し続け
[P - B]をディスプレーに表示させます。

表示は続いて[P - 00]と変ります。

演奏しないトラック番号を
SKIP |◀◀ ▶▶| または
1 ~ 0 で選択し、
DISPLAY で確定します。

左記の手順を繰り返すことによって他のトラック番号も続けて入力設定します。

設定が終了したらで PLAY で
演奏を開始します。

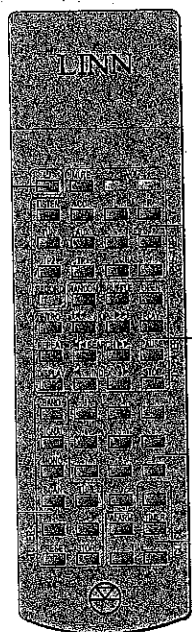
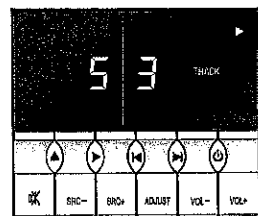
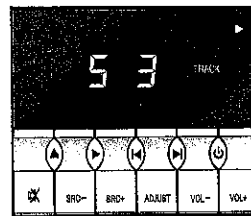
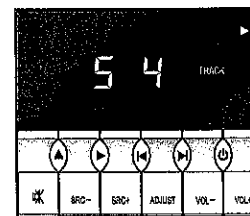
このプログラムはトレーの開閉によって解除されます。

シャッフル／ランダム

CD 演奏中、演奏停止中、トレーが開いた状態でプログラムします。
シャッフル：
全曲をランダムに一度ずつ演奏します。
ランダム：
全曲をランダムに繰り返し連続演奏します。

シャッフル：
SHUFFLE でスタートします。
自動プログラムは演奏開始まで数１０秒かかります。
しばらく、お待ち下さい。

ランダム：
RANDOM でスタートします。
自動プログラムは演奏開始まで数１０秒かかります。
しばらく、お待ち下さい。

切替ボタン：
ディスプレーに上記の表示が表れるまで PLAY を押し続けます。

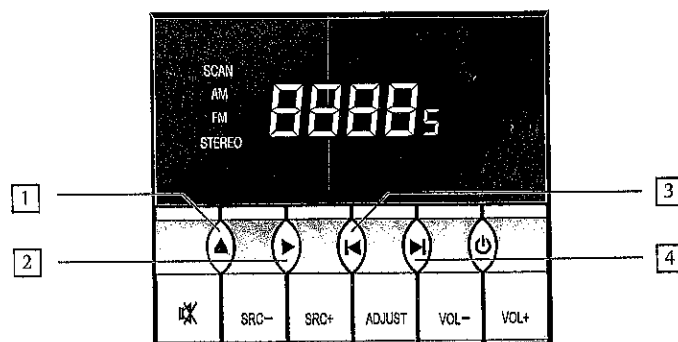
2 でシャッフルに
3 でランダムに
切替わります。

イントロモード

各曲を最初の１０秒づつ続けて再生します。
INTRO でスタートします。

演奏したい曲を PLAY で選択します。

選択した曲の演奏をはじめます。

切替ボタン：
ディスプレーに上記の表示が表れるまで PLAY を押し続けます。

数字ボタンの 1 を押すとイントロモードに戻ります。

インデックスの利用

ＣＤディスクにはインデックスポイントを設定しているものがあります。

上記の表示はNo.５トラックの第３インデックスを表しています。

INDEX [◀] [▶] で希望のインデックスを選択します。

LINN CLASSIK

チューナー　機能

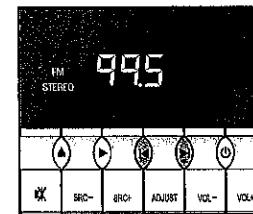
チューナー操作

1	AM/FM バンド切替	BAND SELECT
2	モード選択 プリセット、スキャン、同調、信号強度	PLAY MODE SELECT PRESET/SCAN/TUNE/SIGNAL STRENGTH
3	前方にスキップ	MUTE
4	後方にスキップ	SOURCE SELECT

[1] ~ [0] でチューナーの選局や周波数の指定が出来ます。
例えば、FM の 82.5KHz は [BAND] で FM を選び [8] [2] [5] と指定します。

ご注意：
本体がリモコンのボタンに反応しない場合は、チューナー専用の操作ボタンを一度押してから再度、数字ボタンを押してみてください。
チューナー操作ボタン（例： [BAND] [TUNE] [SCAN] 等）

マニュアル チューニング

TUNE を押します.

BAND で FM、AM を切替えます。

選びたい放送局の周波数を − + で早送り、早戻し、または 1 ~ 0 で選局します。

例: FM の 82.5KHz は BAND で FM を選び 8 2 5 と続けて押します。

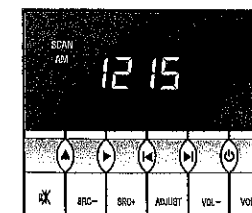
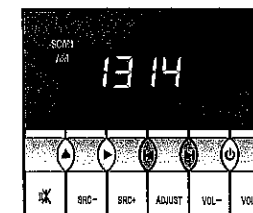
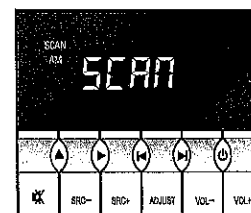
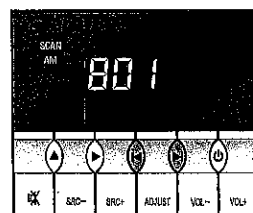
注: − + ボタンは必ずチューナー専用のボタンで操作してください。ボリュームやタイマーの − + ボタンでは操作できませんので ご注意ください。

---

4 数字ボタン

6 チューナー

サーチ／スキャンモード

リモコンの SCAN を長めに押し続け、大きな[Srch] (サーチ) または [SCAN] (スキャン)をディスプレーに表示します。
[Srch]と[SCAN]は、SCAN を長めに押し続ける毎に交互に表示します。

サーチモード:
SCAN を長め一度押し、
− + で早送り、早戻し選局します。

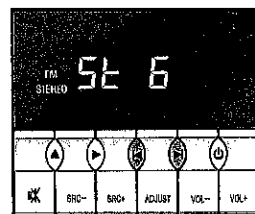
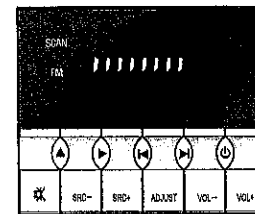
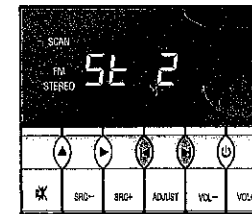
スキャンモード:
一度 SCAN を押し、もう一度 SCAN を上記の表示が表れるまで押し続けます。変更処理中はバーコードが表示されます。

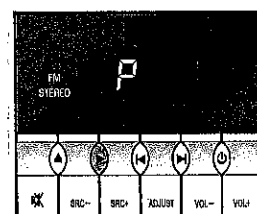
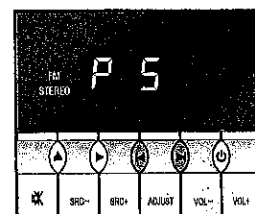
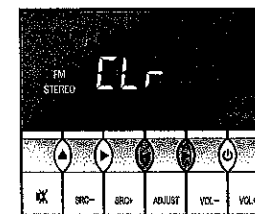
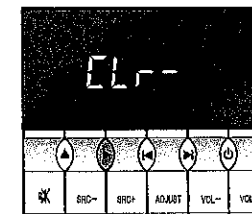
− + でスキャンモードを開始します。

検出した局を5秒間づつ演奏しながら自動的に次の局に移っていきます。現在、どの局でどのような放送をしているのかを素早くチェックするのに便利です。SCAN 又は TUNE で終了します。

SCAN と − + で後述のスレッショルド設定値よりも高感度な受信局のみを検出します。
複数の周波数で同一の放送が受信できる場合に、聴感上最も良好な局を選ぶのに便利です。

プリセットの設定
自動プリセット設定

プリセットの登録：
放送局を上記の要領でディスプレーに表示し、STORE を一度押します。
自動的に空いてるプリセット番号が表示されます。

異なるプリセット番号を指定する場合は、
TUNER − ＋ 又は
1 ～ 0 でプリセット番号を選択しもう一度 STORE を押して登録します。

自動プリセット：
リモコンの STORE を一度押します。
更にもう一度 STORE を押し続けると自動プリセット登録を開始します。

自動プリセットは5秒毎につぎの局へとスキップしながら登録を繰り返します。
各局、5秒間の再生を早めに切上げてプリセット登録に追加する局には ＋ で、削除する局には − を押します。

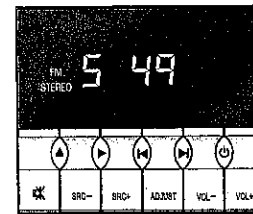
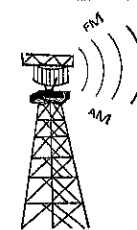
プリセットした放送局を聴く
プリセットの削除

プリセット局の再生：
PRESET を押します。

TUNER − ＋ 又は
1 ～ 0 でプリセット番号を選択

プリセット局の削除：
削除したいプリセット番号を表示させた上で、PRESET を長めに押し続けてその番号を削除します。
ディスプレーには[Clr−]と表示されます。

全プリセット局の削除：
PRESET を押しながら電源を入れ、PRESET を押したまま、ディスプレーに[Clr−]が表示されるまで約12秒間待ちます。

信号レベルの表示

(より良い受信状態を探索します)

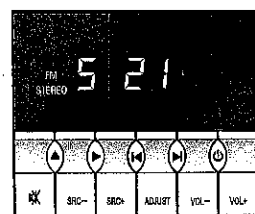
SIGNAL を押します。

受信中の局の信号レベルが表示されます。

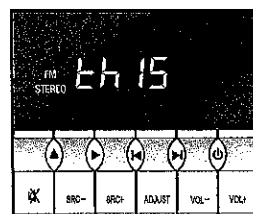
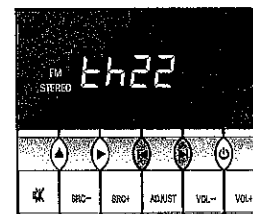
信号レベルは 0 ～50 の範囲で表示され、上記の表示例 50 がもっとも強い受信レベルを表します。

この信号レベル表示はアンテナ設置時、アンテナの方角を決める際にも有効です。

FM、AM 受信についてのより詳しい内容は下記の LINN ホームページをご参照ください。(英語)

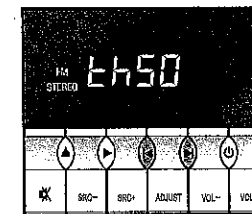
www.linn.co.uk/amfmreception

ミュートスレッショルド

(設定以下の弱い信号の放送局を選択しないための機能です。)

SIGNAL を押します。

受信中の局の信号レベルが表示されます。

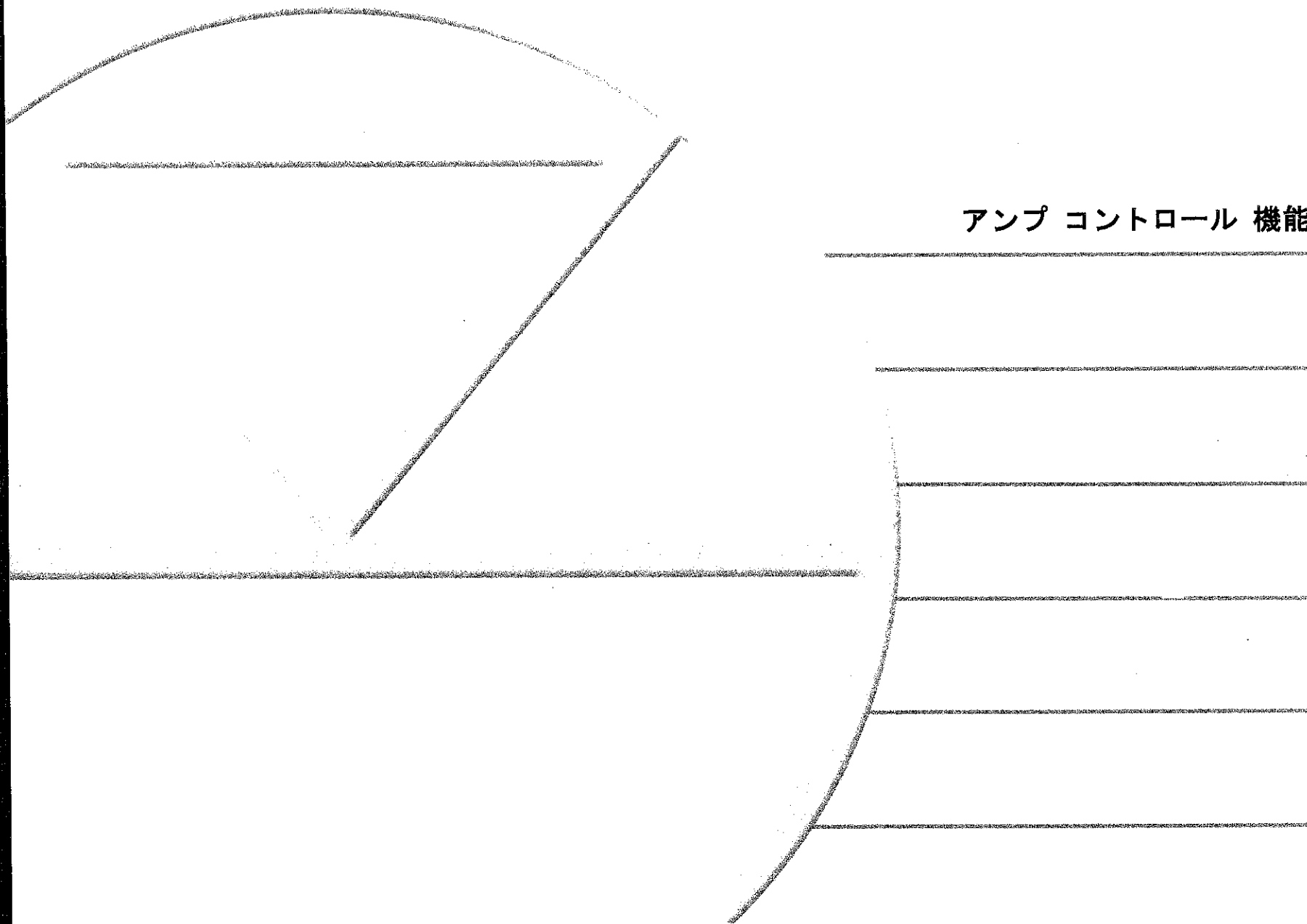
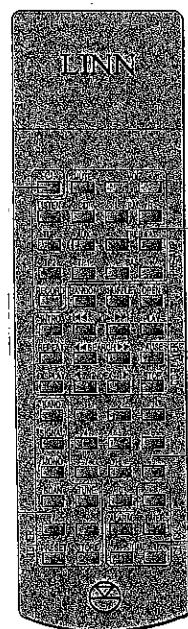
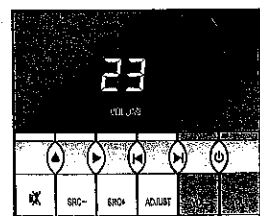
(例:S 21 は信号レベル 21 を表します。)

もう一度、SIGNAL を長めに押し続けて[th —] を表示させます。

TUNER [–] [+] 又は [1] ~ [0] でミュート・スレッショルドの信号レベルを設定します。

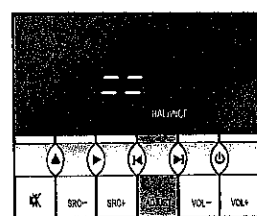
(例:[th 22]はミュート・スレッショルド・レベル 22)

信号レベル 1:
最弱の信号から全ての信号を受信。

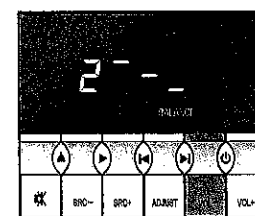
信号レベル 50:
最強の信号のみを受信。

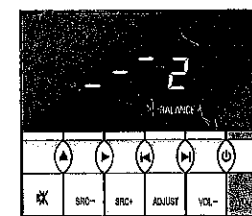
(例:[th 50]はミュート・スレッショルド・レベル 50)

LINN CLASSIK

アンプ コントロール 機能

音量とバランスの調整

音量の調整：
VOL [－] [＋] で操作します。

[フロントパネル]
[VOL＋] [VOL－] を押します。

バランスの調整：
BAL [L] [R] で操作します。

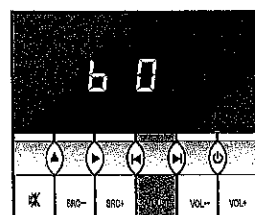
[フロントパネル]
[ADJUST] を数回押して上図ディスプレーを表示させます。

音量バランスを左よりにするには、BAL [L] を押します。
（例：左よりに２ステップ調整）

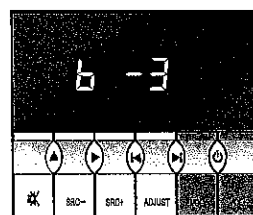
[フロントパネル]
[VOL－] を押します。

音量バランスを右よりにするには、BAL [R] を押します。

（例：右よりに２ステップ調整）

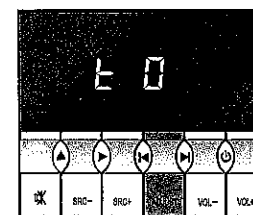
[フロントパネル]
[VOL＋] を押します。

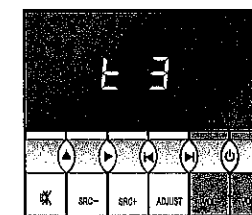
トーンコントロール

（高音、低音の調整）

低音の調整:
BASS [－] [＋] で調整します。

[フロントパネル]
[ADJUST] を何度か押して､上図を表示させます。

低音を下げるには
BASS [－] を押します。

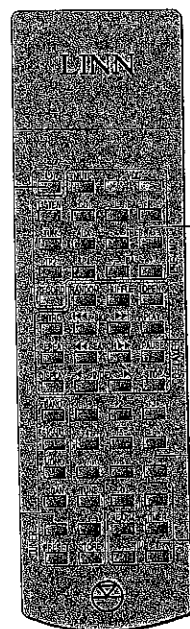
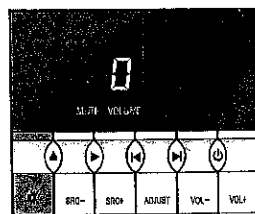
（例：低音を３ステップ下げる）

[フロントパネル]
[VOL＋] [VOL－] で調整します。

高音の調整:
TREBLE [－] [＋] で調整します。

[フロントパネル]
[ADJUST] を何度か押して、上図を表示させます。

高音を上昇させるには
TREBLE [＋] を押します。

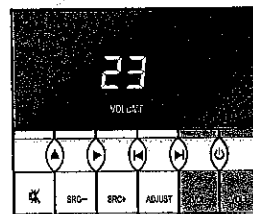
（例：高音を３ステップ上昇）

[フロントパネル]
[VOL＋] [VOL－] で調整します。

ミュート
入力ソースの選択

ミュート（消音）：

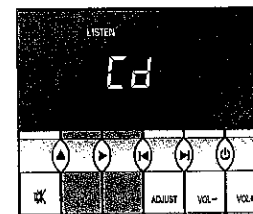
MUTE で一時的に音を止めます。

フロントパネル

MUTE で音を止めます。

ミュート解除：

MUTE をもう一度押すか VOL − ＋ でもとの音量レベルに復帰します。

フロントパネル

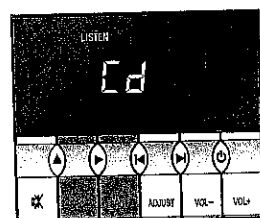
MUTE をもう一度押すか VOL− VOL＋ でもとの音量に復帰します。

入力ソースの選択：

CD TUN AUX TP1 TP2 の入力ボタンで選択します。

（例： CD）

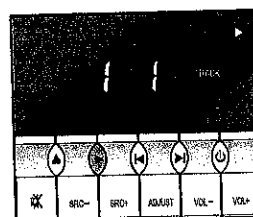
フロントパネル

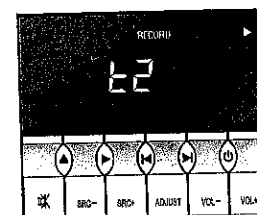
SRC− SRC＋ で[Cd⇒ tu ⇒ Au⇒ t1 ⇒ t2 ⇒ Cd]の順に入力ソースを表示選択します。

録音

録音入力ソース：

CD TUN AUX TP1 の入力ボタンを直接選択します。

フロントパネル

SRC− SRC＋ で[Cd ⇒ tu ⇒ Au⇒ t1 ⇒ t2 ⇒ Cd]の順に入力ソースを表示選択します。　　（例： CD）

REC を1～2 度押してディスプレー上部に[RECORD]の文字を表示します。

録音機をスタートさせると同時に音源となる CD、MD、他のテープレコーダー等の機器もスタートさせて録音を開始します。

録音モニター：

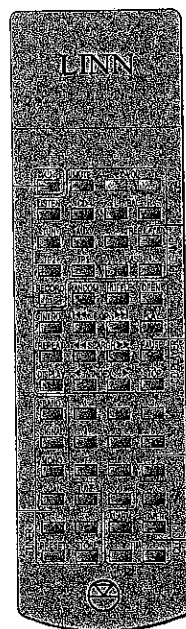
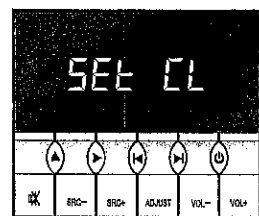
リモコンの TP2 を押すごとに、録音入力ソースとレコーディング中の機器からのモニター音を交互に比較再生します。

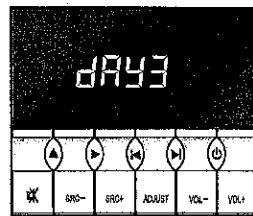
（例： TAPE 2）

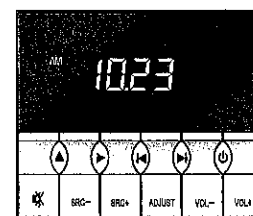
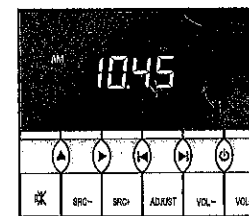
LINN CLASSIK

アラーム・タイマー 機能

時刻の設定

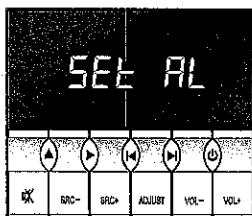
(リモコンによる設定のみ)

CLOCK を押し上記の表示から下表に従い今日の曜日を入力します。

日曜日は	dAY 1
月曜日は	dAY 2
火曜日は	dAY 3
水曜日は	dAY 4
木曜日は	dAY 5
金曜日は	dAY 6
土曜日は	dAY 7

「 曜日 」が点滅、本日の曜日を TIME [－] [＋] で左表から選択。CLOCK で確定します。

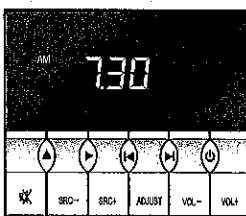
(表示例：dAY3 =火曜日)

続いて、「 時 」の部分が点滅、現在時刻の「 時 」を TIME [－] [＋] で表示、CLOCK で確定します。

続いて、「 分 」の部分が点滅、現在時刻の「 分 」を TIME [－] [＋] で表示。時報とともに CLOCK をもう一度押して確定。時計をスタートします。

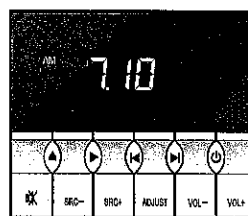
(表示例：午前 10 時 45 分)

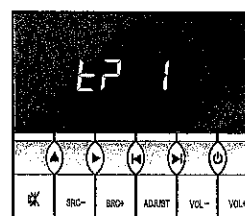
> 時刻表示： 工場出荷時の 12 時間表示です。午前には AM が表示されますが機能上、午後の PM 表示はされません。24 時間表示への変更はユーザー機能の設定ページをご参照下さい。

アラームの予約設定

上記の表示が表れるまで ALARM を押します。

(例：曜日ごとに On,Off を設定)

1.Off	日曜日
2.On	月曜日
3.On	火曜日
4.On	水曜日
5.On	木曜日
6.On	金曜日
7.Off	土曜日

「時」の部分が点滅、アラーム時刻の「時」を TIME [－] [＋] で表示。ALARM で確定します。

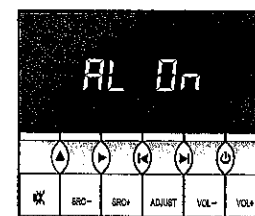
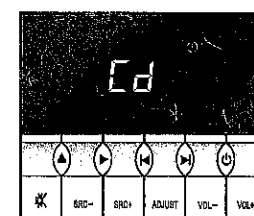
(表示例：午前 7 時 30 分)

続いて、「分」の部分が点滅、アラーム時刻の「分」を TIME [－] [＋] で表示。ALARM を押して確定します。

(表示例：午前 7 時 10 分)

アラーム時の入力選択：
ＣＤを選ぶ時は
[t?] (トラック番号)を、
TUNER を選ぶ時は
[P?] (プリセット番号)を、
TIME [－] [＋] で選択。
ALARM を押して確定します。

(表示例：CD トラック No. 1)

> 予約には事前に時計の設定が必要です。この機能により、CLASSIK は目覚し時計の代わりに予約した一定の時刻に音楽をスタート。日～土曜日まで個別にアラームの ON、OFF を設定。

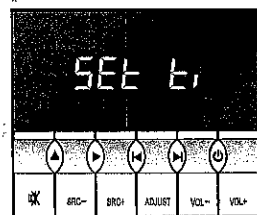
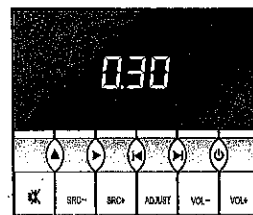
アラーム時の音量：
TIME [－] [＋] で音量設定、

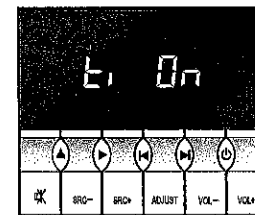
アラーム設定の曜日：
TIME [－] [＋] で日曜～土曜まで個別にアラームの ON、OFF を設定。曜日ごとに [ALARM] で確定します。
（表示例：1.0n=日曜は ON）

アラームの開始：
[ALARM] を一度押すごとに
開始［AL On］
終了［AL Off］を選択します。
お休み前に [STANDBY] を押して、本機を待機モードにします。

追記：
スタンバイモード時、設定の確認に、上記ディスプレーの右上に　が表示されます。
正しく設定されていないとこのマークは表示されません。その時はもう一度初めから設定をやり直して下さい。

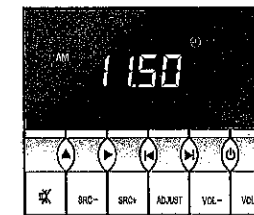
アラーム機能： 設定した曜日と時刻に音楽やラジオを目覚しとしてスタートします。（例：月曜から金曜までは、毎朝のお目覚めに CD やラジオ放送を希望の時刻にスタート。土曜、日曜の休日はアラームを OFF 設定、ゆっくりお休みになれます）

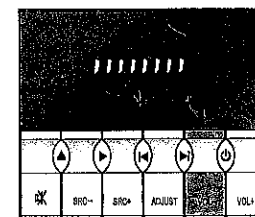
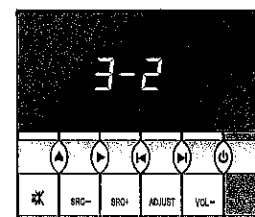
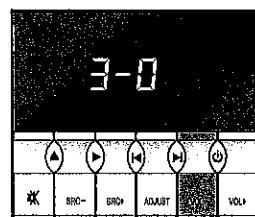
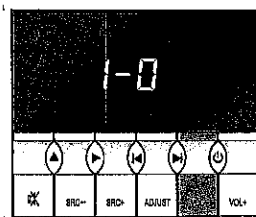
タイマー設定

（おやすみタイマー）

（設定した時間が経過すると
スタンバイモードに入ります）

上記の表示が表れるまで [TIMER] を押します。

TIME [－] [＋] で演奏終了までの時間を 5 分刻みに最長 2 時間までの範囲で設定。

（例：終了まで３０分で設定）

もう一度 [TIMER] を押して確定し、オフタイマーをスタートします。
オフタイマーを解除するには [TIMER] を押します。

（例：タイマー設定 ON）

追記：
設定の確認に演奏中は上記ディスプレーの右上に　が表示、点滅します。正しく設定されていないとこのマークは表示されません。その時はもう一度初めから設定をやり直して下さい。

LINN CLASSIK

ユーザー 機能の設定

ユーザー機能の設定

本体の VOL− を押しながら電源スイッチを入れます。VOL− を 12〜15 秒間ほどそのまま押し続けると、ディスプレーに上図のような表示が現れユーザー機能の設定を開始します。

VOL− を押すごとにユーザー機能の番号(ディスプレー左側の数字)を順に表示します。

VOL+ で各ユーザー機能の設定内容(ディスプレー右側の数字) を順に表示選択します。続けて他のユーザー機能も VOL− と VOL+ を使って設定します。

各ユーザー機能の設定を完了したら最後にもう一度 VOL− を 5〜7 秒間押して、上記バーコードの表示を経て設定モードを終了します。

設定：	この設定は本体パネルのボタンで設定します。リモコンによる設定は出来ません。 詳細は次のページを参照ください。

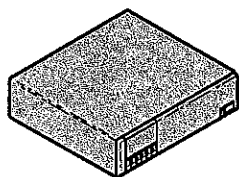
ユーザー機能の設定一覧

設定変更の方法は前ページをご参照下さい。　項目- 選択のアンダーライン番号は工場出荷時の初期設定です

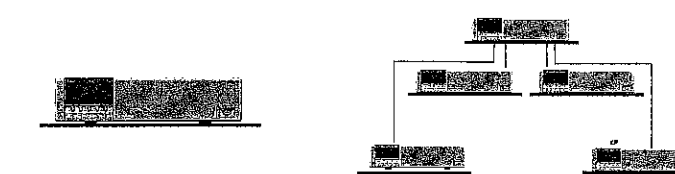
項目-選択	選　択	設　定　内　容
1 - 0	表示をスリープ状態に変える	操作後 20 秒でディスプレー表示をスリープ状態［ - - ］に変える
1 - 1	動作内容の表示を持続する	動作内容の表示を持続する
2 - 0	' . . . '	スタンバイ時のディスプレー表示
2 - 1	時計表示	
2 - 2	時計・次回アラーム設定日	
3 - 0	12 時間表示	時計の表示形式
3 - 1	24 時間表示	
4 - 0	スタンバイモード	電源スイッチ投入後の最初の動作状態
4 - 1	直ちに再生を開始する	
5 - 0	再生開始時の入力ソースを固定しない	電源投入時、常に CD を入力ソースとして再生スタートする
5 - 1	再生開始時の入力ソースを CD で固定	
6 - 0	保存しない	電源を切る（又はスタンバイ）直前の CD 再生状態を保存、つぎの再生時に同じ状態から引続き再生を開始する。
6 - 1	保存する	（例：トラック番号、ディスプレー、再生、停止、ポーズ）
7 - 0	各入力とも同様に再生	各入力ソースとも同じ音量、左右バランス、トーンコントロールで再生する。
7 - 1	各入力を個別に再生	各入力ソースを個別に音量、左右バランス、トーンコントロールで再生する。
8 - 0	その都度、保存する	電源を切る（又はスタンバイ）直前のアンプの動作状態をその都度に保存し、つぎに電源を入れると（又はスタンバイから立ち上げる）同じ状態から再生を再開する。
8 - 1	一定の設定を保つ	電源を入れると(又はスタンバイから立ち上げる) 8 – 0 から 8 – 1 に変更した時点でのアンプの動作状態を再現する
9 - 0	ゆっくり	入力ソース変更時の自動ミュート(ボリューウムを下げる) のスピードの設定
9 - 1	中間	
9 - 1	早い	
10- 0	設定しない	ユニティゲイン：AUX 入力時に再生音量を固定する（ボリューム･レベル：80 で固定）
10- 1	設定する	AV アンプ等との併用に便利です

11- 0 11- 1	マニュアル オート	マニュアル：アラーム再生時の時刻、ボリューム、入力ソース（CDのトラック番号、チューナーのプリセット番号）をアラーム設定時、その都度に設定。　（注：アラームの時刻や曜日は事前に設定します） オート：アラーム再生時のボリュームや入力ソースを、本機をスタンバイにする直前の状態で再生スタート
12- 0 12-16 12- U	0＝36 1＝36 周波数の変更済み	IR 1 出力：　赤外線発光器(IR FLASHER) 用設定オプション（主に英国製、ヨーロッパ製、日本製の赤外線を使用する機器に適応） 外部の機器をリモートコントロールする為の赤外線発光部(IR FLASHER) の出力周波数の変調帯域を選択、より良好な赤外線リモコンの動作を確保します（同時に太陽光線や照明などの外的ノイズからの影響を抑えます）
13- 0 13- 56 13- U	0＝56 1＝56 周波数の変更済み	IR 2 出力：　赤外線発光部器(IR FLASHER) 用設定オプション（主に米国製の赤外線を使用する機器に適応） 外部の機器をリモートコントロールする為の赤外線発光器(IR FLASHER) の出力周波数の変調帯域を選択、より良好な赤外線リモコンの動作を確保します（同時に太陽光線や照明などの外的ノイズからの影響を抑えます）
14- 0 14- 1	赤外線リモコンを受信する 赤外線リモコンを受信しない	LINN KNEKT マルチルーム用 RCU (Remote Control Unit) を使用時、必要に応じて受信機能を解除する
15- 0 15- 1	外部 赤外線受光機 LINN RCU を使用	外部の赤外線受光器を使用する LINN KNEKT マルチルーム用 RCU を使用する
16- 0 16- 1 16- 2	CLASSIK コネクト・システム CLASSIK メインルーム（KNEKT） CLASSIK サブルーム（KNEKT）	CLASSIK コネクト、LINN KNEKT マルチルームと接続する為の設定 CLASSIK をメインルーム用として LINN KNEKT マルチルームに接続する場合 CLASSIK をサブルーム用として LINN KNEKT マルチルームに接続する場合

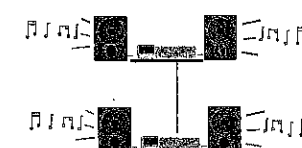
LINN CLASSIK

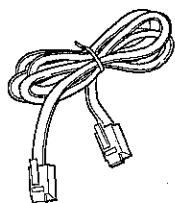
クラシック コネクト

CLASSIK Connect

メインルームの CLASSIK(親機)とサブルームに最多で4台までの CLASSIK(子機)を接続して簡単なマルチルーム・システムがお楽しみいただけます。

必要に応じて CLASSIK(子機)を増設し CLASSIK(親機)で演奏中の曲を別の部屋の CLASSIK(子機)でも同時にお楽しみ頂けます。(例：好きな CD をリビングで鳴らしながら、同じ音楽を同時にキッチンや寝室、浴室などでも楽しむことが出来ます。

初めに CLASSIK(親機)をメインルームに設置します。

4 台までの CLASSIK(子機)をサブルームに設置出来ます。

一般の家庭では通常、本格的なオーディオ機器やビデオ、DVD、CS 放送等はメインシステムだけに接続され、キッチンや寝室など他の部屋での共用は出来ませんでした。
LINNコネクトではメインルームCLASSIKの音源や外部入力ソースを、サブルームでいながらにして再生しコントロールすることが出来ます。
またホーム・パーティーの時など設置したすべての CLASSIK を同時に再生し、家中を豊かな音楽で演出することも出来ます。

各サブルーム CLASSIK はメインルーム CLASSIK からの音楽信号を再生しながら、同時にその機能を遠隔コントロールする事が出来ます。

(ただし、サブルームの CLASSIK(子機)の演奏をメインルームで聴くことは出来ません。)

配線方法

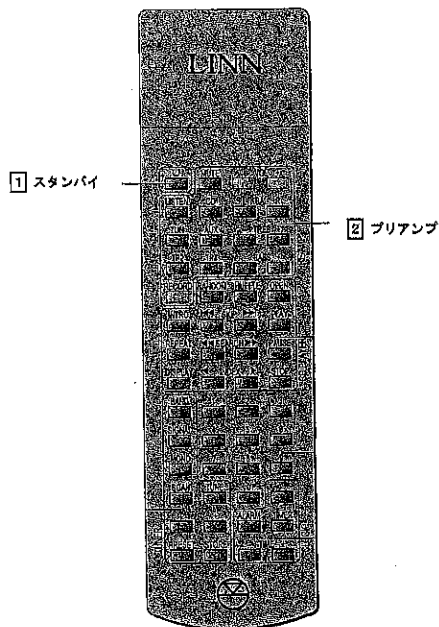
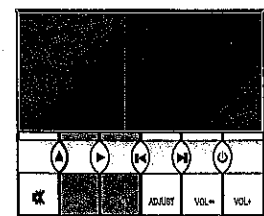
CLASSIK(親機)と CLASSIK(子機)の接続は、一般の CAT－5 規格ケーブル(電話やコンピューターなどの屋内配線に広く普及)が使用出来ます。

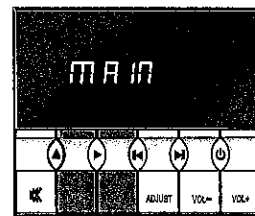
別売品：CONN 638 (60m)
CONN 639 (40m)
CONN 640 (25m)

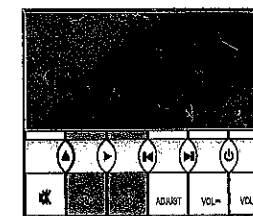
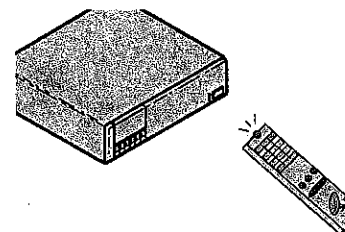
メインルームの CLASSIK(親機)背面の ROOM OUTPUT 端子(4系統出力)のいずれかからサブルームの CLASSIK(子機)に接続します。

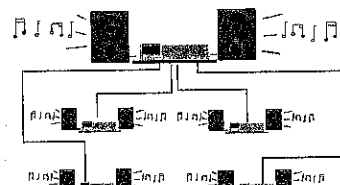
メインルームの CLASSIK(親機)からの出力はサブルームの CLASSIK(子機)の MAIN INPUT 端子に接続します。

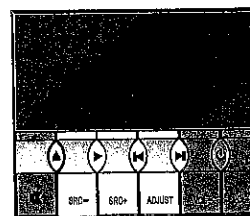
重要：
ACC (Accessaries)端子に付いているカバープラグは決して取外さないで下さい。
誤った接続や配線は機器を破損させることがあります。
ACC 端子への配線は必ず LINN KNEKT 取扱店にお任せください。

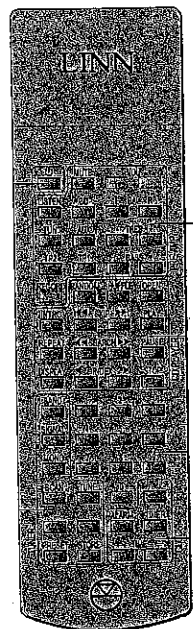
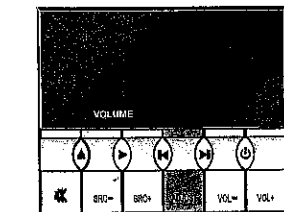
操作方法

フロントパネル
サブルーム CLASSIK の
SRC－ SRC＋ の両ボタンを同時に押します。演奏内容をディスプレー中央に、［ Listen ］の文字は左上部に小さく表示します。

リモコン
LISTEN を押します。

フロントパネル
再度、サブルーム CLASSIK の
SRC－ SRC＋ の両ボタンを同時に押し［ MAIN ］を表示させます。これにより、メインルームで再生中の音楽をサブルームでも同時に再生し、また自由に遠隔操作出来るコネクトモードに入ります。

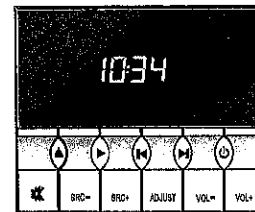
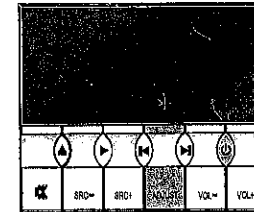
サブルームからの遠隔操作はメインルーム CLASSIK とは別に一台に限り他の入力機器も操作出来ます。メインルーム CLASSIK に接続の機器（例：衛星放送）に IR レピーター（別売）を取付け、サブルームからその機器専用のリモコンで自由に操作出来ます。

コネクトモードの解除：
フロントパネル
SRC－ SRC＋ の両ボタンを同時に押してサブルーム CLASSIK はコネクトモードを解除、通常の動作に復帰します。

リモコン
LISTEN を押します。

パーティー・モードとは

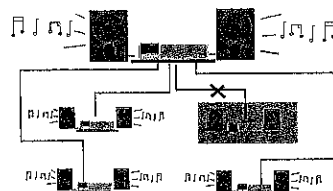
パーティー・モードはメインルームで選択した音楽ソースをすべてのサブルームでも同時に再生し、家を素晴らしい音楽で満たします。

パーティー・モードに於いて、サブルーム CLASSIK で操作できる機能はボリューム、ミュートとスタンバイに制限されています。
ホーム・パーティー等を楽しんでいる時に、誤ってサブルームから入力ソース等を切替えられない様に保護されています。

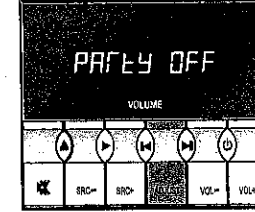
パーティー・モードの設定

フロントパネル
メインルームから全システムを一度にパーティー・モードに設定します。ADJUST を長めに押してディスプレー左下に[Volume]を表示させます。

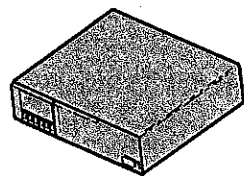
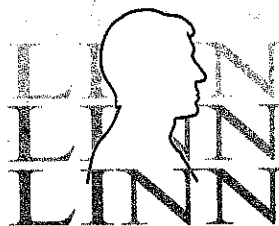
リモコン
Listen ボタンを押します。

フロントパネル
つぎにもう一度、ADJUST を長めに押して[Party On]を表示させます。

サブルーム CLASSIK はスタンバイから立ち上がり、メインルーム CLASSIK と同じ音楽を、同じ音量で再生します。
その上で、サブルーム CLASSIK の音量を独自に調整すると、その後はメインルーム CLASSIK の音量変化に伴い、同じ音量差を保ちながら再生します。

フロントパネル
サブルーム CLASSIK の動作はすべてメインルームの動作と連動するようになります。メインルーム CLASSIK の STANDBY を押してパーティー・モードを解除、通常の動作に戻ります。

パーティー・プープ・モード

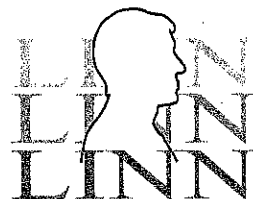
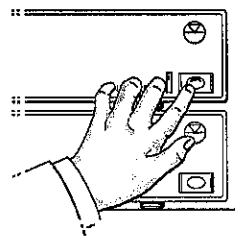
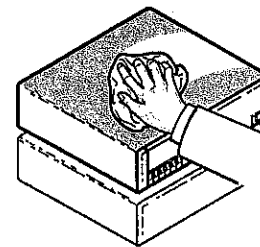
システム全体がパーティー・モードにある中で、特定のサブルーム CLASSIK を一時的にパーティー・モードから解除させるモードです。この時のサブルーム CLASSIK は独自の入力ソースを選択し、自由に再生することが出来ます。

フロントパネル
サブルーム CLASSIK の ADJUST を押して[Volume]の文字を表示させます。
次にもう一度、ADJUST を長めに押して[Party Poop]を表示させ、パーティー・プープ・モードに入ります。

フロントパネル
もう一度、ADJUST を押して[Party On]を表示させてパーティー・プープ・モードを解除、パーティー・モードに復帰します。

フロントパネル
メインルーム CLASSIK 側から、パーティー・プープ・モードにあるサブルーム CLASSIK を再度パーティー・モードに復帰させるには、ADJUST ボタンを長めに押して[Party Off]を表示。改めて、初めからパーティー・モードを設定します。

LINN KNEKT
クネクト・システム

LINN CLASSIKは本格的なマルチルームLINN KNEKTに接続することが出来ます。

LINN KNEKTマルチルームの配線等はLINN KNEKT取扱店にお任せください。

LINN CLASSIK

保守 & テクニカルサポート

サービスとクリーニング

サービスのご相談は、最寄りのLINN 取扱店もしくは弊社サービスまで、お気軽にご連絡ください。

システムの清掃は、必ず機器の電源スイッチを全て切ってから行ってください。

埃や手垢等はやわらかい湿り気のある布でお拭きください。

家庭用洗剤は使用しないでください。

仕　様

詳細

寸法／重量	H80 x W320 x D325 mm
	6kg
消費電力	最大: 325W
	通常使用時: 25W
	スタンバイ時: 3W 以下
電源電圧(許容値)	100V（+/- 10%)
ヒューズ規格	125V / T6.3A　Anti-Surge

CD エンジン部

レーザーピックアップ	3 ビーム型
DA コンバーター	デルタシグマ型

チューナー部

同調周波数	**FM** 75.5 - 108.5 MHz
	AM 530 - 1730kHz
チューニングステップ	**FM**　50kHz (スキャン時 100kHz)
	AM　1kHz (スキャン時 9kHz)
ディエンファシス	50 μ
プリセット	80 までのユーザー設定が可能
感度表示	0 - 50 段階
ミュートスレショルド	0 - 50 段階に設定可能

パワーアンプ部

ゲイン　+ 28.5dB

出力　75W/ch (4Ω負荷時)

プリアンプ部

入力	**Aux**	−10dBV(感度)／10kΩ(負荷)
	Tape 1	−10dBV(感度)／10kΩ(負荷)
	Tape 2	−10dBV(感度)／10kΩ(負荷)
出力	**Digital Out**	光学デジタル出力
	Tape Out	AUX 入力と同等の出力レベル
		出力インピーダンス：100Ω
	Pre Out	出力インピーダンス：150Ω
		最小負荷インピーダンス：5kΩ
ヘッドフォン		出力インピーダンス：＜８Ω
		プリ出力と同等の出力レベル
		最大出力電流：　60mA
		負荷インピーダンス：8Ω - 2KΩ

マルチルーム部

RCU ソケット	**LINN RCU**（Remote Control Unit）専用接続ソケット
Room In	他の **LINN CLASSIK** とのコネクト配線やより本格的な
	LINN KNEKT マルチルーム・システムとの接続用
	(オーディオ出力及びコミュニケーション)
Room 1 - 4	他の **LINN CLASSIK** とのコネクト配線やより本格的な
	LINN KNEKT マルチルーム・システムとの接続用
	(オーディオ出力及びコミュニケーション)
IR Flasher 1 & 2	他の機器のリモートコントロールに使用
	外部の赤外線発光ダイオードを接続
	6 mA　常時出力
	変調周波数帯域は可変（20KHz - 450KHz)